

2020年11月30日
復興デザイン会議 第2回復興研究論文賞
審査委員長 原田昇（中央大学教授）

受賞者決定について

復興デザイン会議第2回復興研究論文賞の受賞者7名を以下の通り決定いたしました。

<受賞者>

○最優秀論文賞

近藤民代（神戸大学）「自主住宅移転再建の動向と市街地形成への影響に関する一連の研究」

円山琢也（熊本大学）「ましきラボを拠点とする災害復興研究の体制構築と実践」

○優秀論文賞

小谷仁務（東京大学）「災害復興における社会的ネットワークの役割に関する国際研究」

佃悠（東北大学）「住宅再建の意向・変化要因に関する研究」

○奨励論文賞

河瀬理貴（東北大学）「災害復興時の救援物資支援システムに関する理論研究」

佐藤嘉洋（熊本大学）「災害復興における社会調査の無回答バイアスに関する研究」

須沢栞（東京大学）「仮設・災害公営住宅入居者の動向およびコミュニティ形成に関する研究」

復興研究論文賞は災害復興および事前復興に関わる学術的な理論の構築、知見や技術の体系化、研究方法論の確立などに顕著な貢献をなしたと認められる個人を表彰する賞です。自薦・他薦合わせて26名の応募があり、以下の13名の審査委員による厳正な審査によって最優秀論文賞、優秀論文賞（40歳未満）、奨励論文賞（学生）を決定いたしました。

審査委員長：原田昇(交通計画)

審査委員：姥浦道生(復興都市計画)、大月敏雄(建築計画)、小林祐司(避難行動)、菊池雅彦(復興計画)、佐藤慎司(海岸計画)、田島芳満(海岸工学)、田中貴宏(都市計画)、羽藤英二(都市計画)、福田大輔(交通計画)、本田利器(地震工学)、牧紀男(防災計画)、森脇亮(環境工学)

表彰式は12月5日(土)に開催されます復興デザイン会議第2回全国大会にて執り行います。

主催：復興デザイン会議第2回全国大会実行委員会

担当：小野悠（ono.haruka.ac@tut.jp）